組込みソフトウェア設計検証への モデル検査技術の導入に関する技術動向

横川 智教[1,a)]

概要：組込みソフトウェアは，信頼性について極めて高い品質基準が要求される一方で，複雑化・大規模化による開発コストの増加が課題となっている．ソフトウェア開発では開発工程の後半に進むほど手戻りによるコストが大きくなるため，設計工程における不具合検出の重要性が広く認知されている．中でも，網羅的かつ自動検証が可能なモデル検査技術への注目は非常に高まっている．本チュートリアルでは，モデル検査による組込みソフトウェアの設計検証に関する技術動向について紹介する．

謝辞

本チュートリアルの一部は，独立行政法人情報処理推進機構・技術本部ソフトウェア高信頼化センター (IPA/SEC) が実施した，「2013 年度ソフトウェア工学分野の先導的研究支援事業 (RISE)」の支援を受けたものです．

[1] 岡山県立大学
Okayama Prefectural University
[a)] t-yokoga@cse.oka-pu.ac.jp

© 2014 Information Processing Society of Japan